

**福島市**  
**子ども・子育て支援事業計画**  
**ニーズ調査報告書**  
**【概要版】**

平成31年3月

福島市



# 目次

1	子どもの育ちをめぐる環境について	1
	子育ての孤立の状況	1
	子育てに自信を持ってないことがあるか	2
	家計のゆとり	3
2	保護者の就労状況について	8
	両親の就労状況による世帯類型	8
	就労パターン	10
3	育児休業について	12
	育児休業の取得状況	12
	育児休業を取得しなかった理由	14
4	お子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況について	16
	教育・保育事業の利用状況・利用希望	16
5	お子さんの放課後の過ごし方について	19
	放課後児童クラブの利用状況・利用希望	19
	放課後児童クラブを利用していない理由	20
6	地域の子育て支援について	23
	福島市の子育て環境の満足度	23
	「もっと子育てしやすいまち」のために取り組むべきこと	24



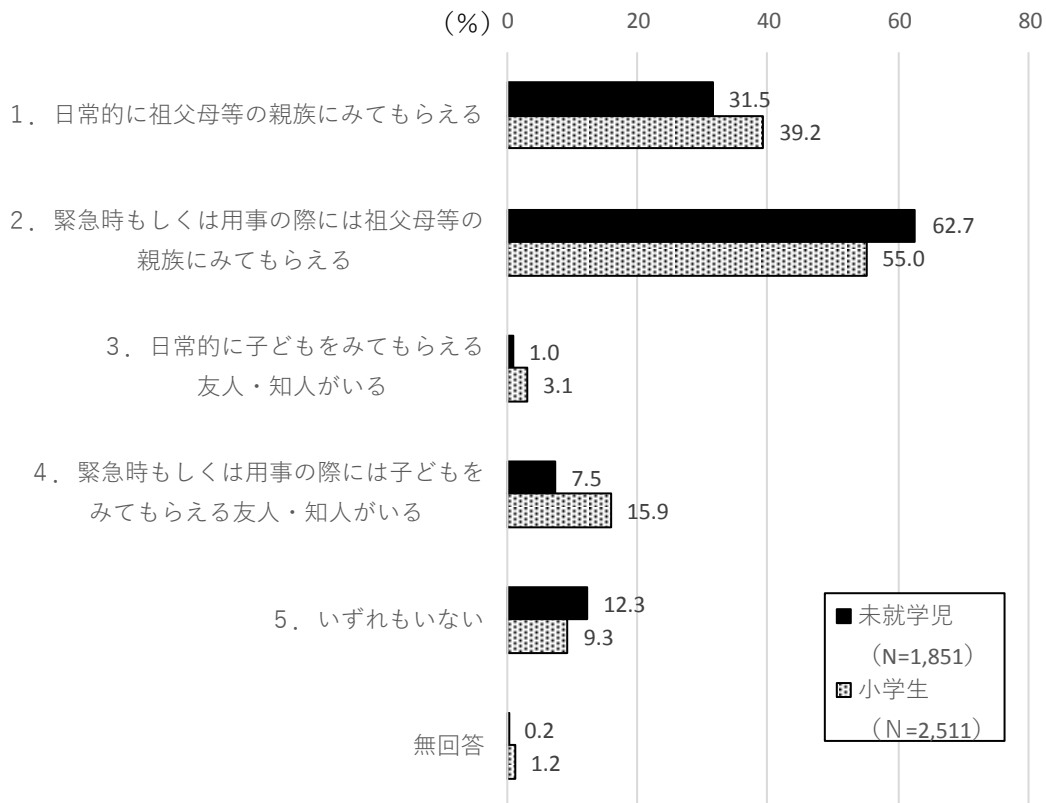
# 1 子どもの育ちをめぐる環境について

## 子育ての孤立の状況

【未就学児 問7、小学生 問7】

日常的にも緊急時にも子どもをみてもらえる方が「いずれもない」と回答した方の割合が、両調査で約1割となっています。

お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか (MA)	未就学児		小学生	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	583	31.5	985	39.2
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	1,160	62.7	1,382	55.0
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	18	1.0	78	3.1
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	138	7.5	399	15.9
5. いずれもない	228	12.3	234	9.3
無回答	4	0.2	30	1.2
全体	1,851		2,511	

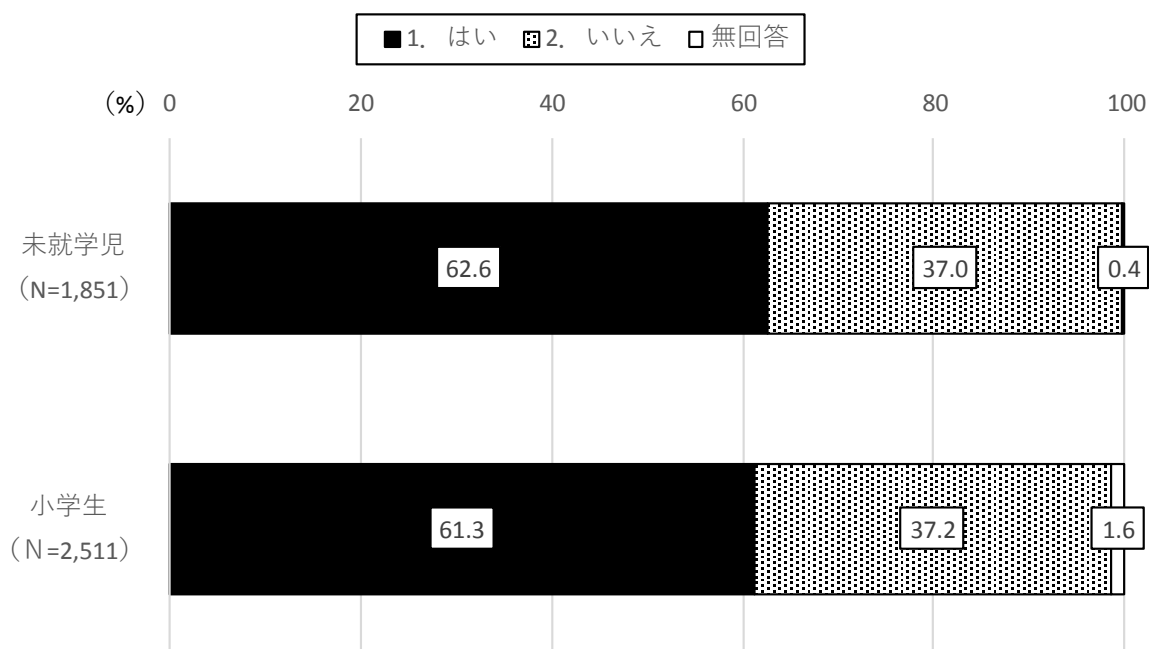


## 子育てに自信を持ってないことがあるか

【未就学児 問9、小学生 問9】

子育てに自信を持ってないことがある(「はい」と回答した)方の割合は両調査でほとんど同程度であり、子どもの就学前後で子育てに自信を持ってないことがある方の割合は変わらない結果となっています。

子育てに自信を持ってないことがあるか (SA)	未就学児		小学生	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. はい	1,159	62.6	1,538	61.3
2. いいえ	685	37.0	934	37.2
無回答	7	0.4	39	1.6
全体	1,851	100.0	2,511	100.0

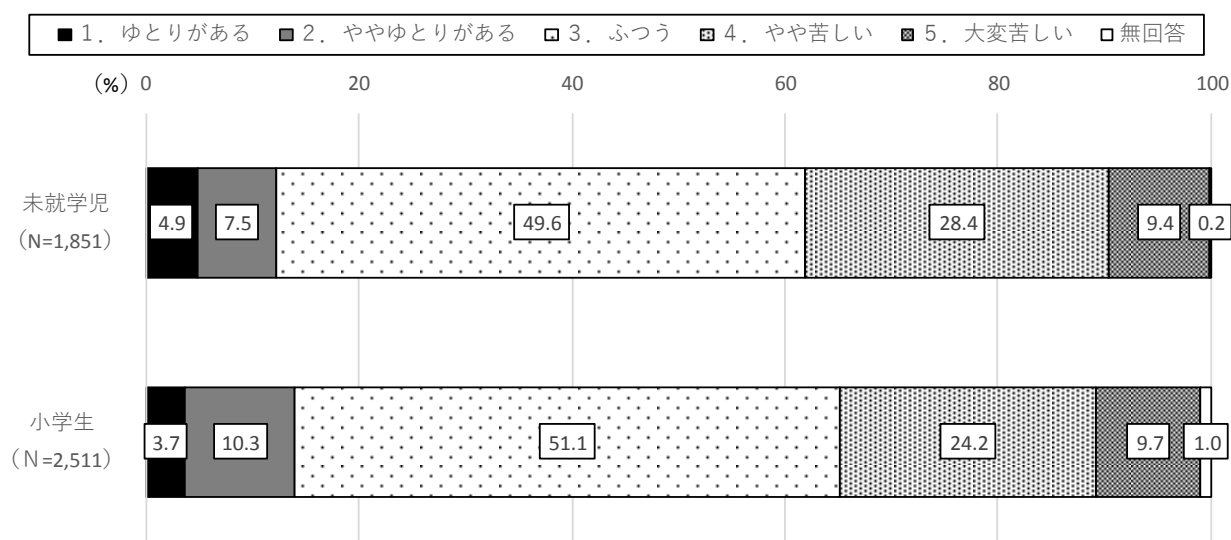


## 家計のゆとり

【未就学児 問 10、小学生 問 10】

未就学児保護者に比べ、小学生保護者のほうが、わずかに家計にゆとりを感じている傾向がみられます。（「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」の合計が、小学生保護者のほうが 1.6% 高く、「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計が、小学生保護者のほうが 3.9% 低い）

経済状況 (SA)	未就学児		小学生	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
1. ゆとりがある	90	4.9	94	3.7
2. ややゆとりがある	138	7.5	258	10.3
3. ふつう	919	49.6	1,282	51.1
4. やや苦しい	526	28.4	608	24.2
5. 大変苦しい	174	9.4	244	9.7
無回答	4	0.2	25	1.0
全体	1,851	100.0	2,511	100.0



【経済状況別 子育ての孤立の状況

：未就学児 問 10×問7(クロス集計)、小学生問 10×問7(クロス集計)】

未就学児世帯においても小学生世帯においても、生活が「大変苦しい」と回答した方の、子どもをみてもらえる友人・知人「いずれもない」と回答した割合が特に高くなっており、経済的困窮と子育ての孤立に関係があることがうかがえます。

未就学児世帯の経済状況 (SA) × 子どもをみてもらえる 親族・知人の有無 (MA)	合計 (人)	割合(%)					無回答
		1. 日常的に祖父母等の親族に みてもらえる	2. 緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもらえる	3. 日常的に子どもをみてもらえる 友人・知人がいる	4. 緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・知人 がいる	5. いずれもない	
全体	1,851	31.5	62.7	1.0	7.5	12.3	0.2
1. ゆとりがある	90	35.6	58.9	2.2	7.8	10.0	0.0
2. ややゆとりがある	138	34.1	65.9	0.0	11.6	11.6	0.0
3. ふつう	919	31.9	64.2	1.2	7.7	10.7	0.2
4. やや苦しい	526	31.0	62.5	1.0	7.4	12.0	0.0
5. 大変苦しい	174	27.0	55.2	0.0	2.9	24.1	0.0

小学生世帯の経済状況 (SA) × 子どもをみてもらえる 親族・知人の有無 (MA)	合計 (人)	割合(%)					無回答
		1. 日常的に祖父母等の親族に みてもらえる	2. 緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもらえる	3. 日常的に子どもをみてもらえる 友人・知人がいる	4. 緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・知人 がいる	5. いずれもない	
全体	2,511	39.2	55.0	3.1	15.9	9.3	1.2
1. ゆとりがある	94	45.7	53.2	4.3	21.3	9.6	0.0
2. ややゆとりがある	258	45.3	48.8	2.7	18.6	8.1	0.0
3. ふつう	1,282	39.7	58.4	3.2	16.5	7.2	0.1
4. やや苦しい	608	39.3	55.3	2.8	13.8	10.2	1.0
5. 大変苦しい	244	30.7	48.8	3.3	13.9	20.5	0.4



【経済状況別 子育ての相談相手:未就学児 問10×問8(クロス集計)、小学生問10×問8(クロス集計)】

未就学児世帯においては、全体的に生活が「大変苦しい」と回答した方の、それぞれの選択肢を回答した割合が低く、また、「いない」と回答した方の割合が高くなっています。

未就学児世帯の経済状況 (SA) × 子育ての相談相手 (MA)	合計 (人)	割合(%)					
		1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人	3. 近所の人	4. 子育て支援施設	5. 保健師	6. 認定こども園 保育所(園)、幼稚園、
全体	1,851	83.6	67.4	6.6	12.0	3.7	44.8
1. ゆとりがある	90	94.4	66.7	5.6	12.2	3.3	44.4
2. ややゆとりがある	138	80.4	68.1	7.2	12.3	5.1	53.6
3. ふつう	919	86.9	70.1	7.1	12.9	3.7	44.7
4. やや苦しい	526	80.2	65.6	5.9	11.6	2.7	44.1
5. 大変苦しい	174	73.6	59.2	5.7	7.5	5.7	40.8

未就学児世帯の経済状況 (SA) × 子育ての相談相手 (MA)	合計 (人)	割合(%)					
		7. 民生委員・児童委員	8. かかりつけの医師・ 看護師	9. 自治体の子育て関連 担当窓口	10. その他	11. いない	無回答
全体	1,851	0.3	11.9	1.2	4.1	1.7	0.2
1. ゆとりがある	90	0.0	14.4	1.1	5.6	0.0	0.0
2. ややゆとりがある	138	0.0	10.1	2.2	3.6	0.0	0.0
3. ふつう	919	0.1	11.9	1.3	3.6	1.0	0.0
4. やや苦しい	526	0.4	11.8	0.8	4.0	2.9	0.4
5. 大変苦しい	174	0.6	12.6	0.6	6.9	4.6	0.6

小学生世帯においても、全体的に生活が「大変苦しい」と回答した方の、それぞれの選択肢を回答した割合が低く、また、「いない」と回答した方の割合が高くなっています。

小学生世帯の経済状況 (SA) × 子育ての相談相手 (MA)	合計 (人)	割合(%)					
		1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人	3. 近所の人	4. 子育て支援施設	5. 保健師	6. 保育所(園)、幼稚園、 認定こども園
全体	2,511	75.0	72.7	8.8	8.5	0.4	0.5
1. ゆとりがある	94	78.7	81.9	14.9	3.2	1.1	1.1
2. ややゆとりがある	258	77.5	77.5	7.0	11.6	0.4	0.8
3. ふつう	1282	79.7	76.4	9.2	8.3	0.2	0.3
4. やや苦しい	608	72.5	69.9	8.9	10.0	0.8	0.7
5. 大変苦しい	244	58.6	58.2	7.0	4.9	0.4	0.4

小学生世帯の経済状況 (SA) × 子育ての相談相手 (MA)	合計 (人)	割合(%)					
		7. 民生委員・児童委員	8. かかりつけの医師・ 看護師	9. 自治体の子育て関連 担当窓口	10. その他	11. いない	無回答
全体	2,511	0.2	7.2	0.6	3.9	4.9	1.3
1. ゆとりがある	94	0.0	9.6	0.0	4.3	2.1	0.0
2. ややゆとりがある	258	0.0	6.6	0.4	7.0	2.3	0.0
3. ふつう	1282	0.1	7.4	0.5	3.4	3.0	0.4
4. やや苦しい	608	0.3	7.2	0.8	3.8	5.9	0.8
5. 大変苦しい	244	0.4	7.0	0.4	4.5	16.4	0.4

【経済状況別 子育ての自信の有無

：未就学児 問 10×問9(クロス集計)、小学生問 10×問9(クロス集計)】

未就学児世帯においても小学生世帯においても、生活にゆとりがない世帯ほど、子育てに自信を持ってないことがある(「はい」と回答した)割合が高くなっています。経済状況ゆえに子育てに自信が持てないという関係がうかがえます。

経済状況 (SA) × 子育てに自信を持ってないことがあるか (SA)	未就学児 (N=1,851) (単位:%)			小学生 (N=2,511) (単位:%)		
	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
1. ゆとりがある	51.1	48.9	0.0	45.7	54.3	0.0
2. ややゆとりがある	53.6	46.4	0.0	56.2	43.0	0.8
3. ふつう	59.3	40.5	0.2	58.4	41.1	0.5
4. やや苦しい	69.6	30.2	0.2	69.7	29.6	0.7
5. 大変苦しい	73.0	26.4	0.6	72.1	26.2	1.6
全体	62.6	37.0	0.4	61.3	37.2	1.6

## 2 保護者の就労状況について

### 両親の就労状況による世帯類型

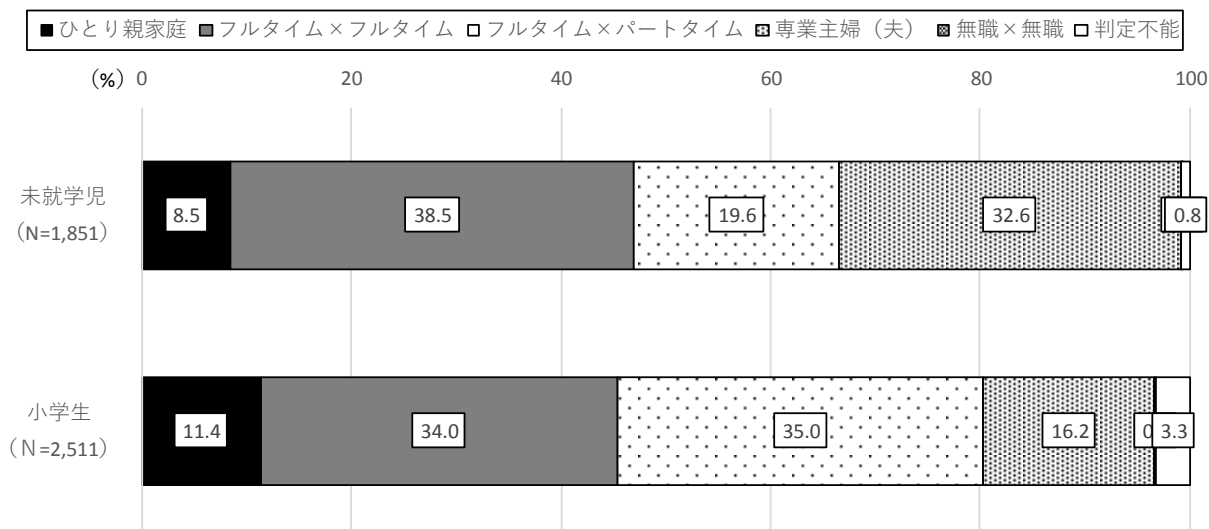
【未就学児 問5・問11、小学生 問5・問11】

複数の設問から、国の示す区分に沿い、以下の通り世帯を分類しました。

ひとり親家庭とフルタイム×フルタイム(両親ともフルタイム)の割合は、両調査であまり変わりません。フルタイム×パートタイム(両親いずれかがパートタイム)の割合は、小学生保護者のほうが未就学児保護者よりも高く、専業主婦(夫)の割合は、未就学児保護者のほうが小学生保護者よりも高くなっています。

子どもが小学生にあがると、それまで未就労だった親がパートタイム就労を始めている可能性がうかがえます。

両親の就労状況による 世帯類型 (SA)	未就学児		小学生	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
ひとり親家庭	157	8.5	286	11.4
フルタイム×フルタイム	712	38.5	853	34.0
フルタイム×パートタイム	362	19.6	878	35.0
専業主婦(夫)	604	32.6	408	16.2
無職×無職	2	0.1	3	0.1
判定不能	14	0.8	83	3.3
全体	1,851	100.0	2,511	100.0



【両親の就労状況による世帯類型別 経済状況

：未就学児 世帯類型×問 10(クロス集計)、小学生 世帯類型×問 10(クロス集計)】

未就学児世帯、小学生世帯いずれにおいても、ひとり親家庭に生活が苦しい(「やや苦しい」と「大変苦しい」の合計)と回答した割合が特に高くなっています。次いで、フルタイム×パートタイム世帯において、生活が苦しいと回答した割合が高くなっています。

両親の就労状況による 世帯類型 (SA) × 未就学児世帯の経済状況 (SA)	合計 (人)	割合(%)					
		1. ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. ふつう	4. やや苦しい	5. 大変苦しい	無回答
全体	1,851	4.9	7.5	49.6	28.4	9.4	0.2
ひとり親家庭	157	4.5	3.8	31.8	40.8	19.1	0.0
フルタイム×フルタイム	712	5.3	9.3	54.8	24.0	6.5	0.1
フルタイム×パートタイム	362	2.8	5.0	45.0	34.5	12.4	0.3
専業主婦(夫)	604	5.6	7.9	50.7	27.2	8.4	0.2
無職×無職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

両親の就労状況による 世帯類型 (SA) × 小学生世帯の経済状況 (SA)	合計 (人)	割合(%)					
		1. ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. ふつう	4. やや苦しい	5. 大変苦しい	無回答
全体	2,511	3.7	10.3	51.1	24.2	9.7	1.0
ひとり親家庭	286	1.4	4.2	36.0	37.1	21.3	0.0
フルタイム×フルタイム	853	4.9	14.8	51.1	21.1	7.5	0.6
フルタイム×パートタイム	878	3.0	8.7	54.3	24.9	8.0	1.1
専業主婦(夫)	408	4.7	9.3	54.9	21.3	8.8	1.0
無職×無職	3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0

## 就労パターン

【未就学児 問 11×問 12(クロス集計)、小学生 問 11×問 12(クロス集計)】

【就労中の方に限定した設問】

就労している親が家を出る時間については、未就学児保護者と小学生保護者の間での全体的な傾向はあまり変わりません。

母親の就労形態で比較すると、フルタイムの方の多くが7時台から8時にかけて家を出ているのに比べ、パートタイム・アルバイトの方はそれよりも遅い8時台から9時にかけて家を出る割合が高くなっています。

フルタイムの母親と父親で比較すると、いずれも7時台から8時にかけて家を出る割合が最も高いのですが、父親のほうが7時以前に家を出ている割合が高くなっています。

就労形態 (SA) × 家を出る時間 (未就学児保護者)		合計 (人)	割合(%)						無回答
			7時以前	7時 1分 〜 8時	8時 1分 〜 9時	9時 1分 〜 17時	17時 1分 〜 24時		
母親	全体	1,216	12.6	55.6	23.4	5.2	1.2	2.1	
	フルタイム	634	15.3	67.0	14.4	2.2	0.2	0.9	
	パートタイム・ アルバイト	346	2.0	35.0	45.1	10.7	3.5	3.8	
父親	全体	1,689	38.6	45.9	8.3	3.0	0.4	3.8	
	フルタイム	1,675	38.6	46.0	8.2	2.9	0.4	3.8	
	パートタイム・ アルバイト	8	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	

就労形態 (SA) × 家を出る時間 (小学生保護者)		合計 (人)	割合(%)						無回答
			7時以前	7時 1分 〜 8時	8時 1分 〜 9時	9時 1分 〜 17時	17時 1分 〜 24時		
母親	全体	1,991	7.8	48.5	30.7	9.5	0.6	2.8	
	フルタイム	1,053	12.1	65.1	17.3	3.1	0.4	2.1	
	パートタイム・ アルバイト	929	3.1	29.9	45.9	16.8	0.8	3.6	
父親	全体	2,172	36.8	44.4	10.5	2.9	0.5	4.9	
	フルタイム	2,157	37.0	44.5	10.4	2.7	0.5	4.9	
	パートタイム・ アルバイト	12	8.3	33.3	33.3	25.0	0.0	0.0	

※いずれも「フルタイム」、「パートタイム・アルバイト」からは産休・育休・介護休業中の方は除いている。

就労している親が家に帰る時間については、未就学児保護者と小学生保護者を比較すると、パートタイム・アルバイトの帰宅時間が、未就学児保護者に比べ小学生保護者のほうが早い傾向がみられます。

母親の就労形態で比較すると、フルタイムの方の多くが 18 時台から 20 時にかけて家に帰るのに比べ、パートタイム・アルバイトの方はそれよりも早い 16 時台から 18 時にかけて家に帰る割合が高くなっています。

フルタイムの母親と父親で比較すると、いずれも 18 時台から 20 時にかけて家に帰る割合が最も高いのですが、父親のほうが 20 時台以降に家に帰る割合が高くなっています。

就労形態 (SA) × 家に帰る時間 (未就学児保護者)		合計 (人)	割合 (%)							無回答
			正午 14 時 1 分	14 時 16 時 1 分	16 時 18 時 1 分	18 時 20 時 1 分	20 時 24 時 1 分	0 時 1 分		
母親	全体	1,216	5.8	7.6	43.5	35.9	3.1	1.0	3.0	
	フルタイム	634	0.2	1.3	45.1	48.1	3.2	0.2	2.1	
	パートタイム・ アルバイト	346	18.8	22.0	43.1	6.9	1.4	2.9	4.9	
父親	全体	1,689	0.5	1.8	16.9	45.1	24.4	6.3	4.9	
	フルタイム	1,675	0.5	1.9	16.7	45.1	24.6	6.3	4.9	
	パートタイム・ アルバイト	8	12.5	0.0	50.0	37.5	0.0	0.0	0.0	

就労形態 (SA) × 家に帰る時間 (小学生保護者)		合計 (人)	割合 (%)							無回答
			正午 14 時 1 分	14 時 16 時 1 分	16 時 18 時 1 分	18 時 20 時 1 分	20 時 24 時 1 分	0 時 1 分		
母親	全体	1,991	12.3	17.0	34.8	27.9	4.2	1.1	2.8	
	フルタイム	1,053	0.2	1.6	41.0	48.5	5.9	0.9	1.9	
	パートタイム・ アルバイト	929	25.7	34.3	27.9	4.8	2.2	1.4	3.7	
父親	全体	2,172	0.4	1.3	18.8	47.8	24.9	2.0	4.8	
	フルタイム	2,157	0.4	1.3	18.8	47.8	24.9	1.9	4.9	
	パートタイム・ アルバイト	12	0.0	0.0	25.0	33.3	33.3	8.3	0.0	

※「フルタイム」、「パートタイム・アルバイト」からは産休・育休・介護休業中の方は除いている。

### 3 育児休業について

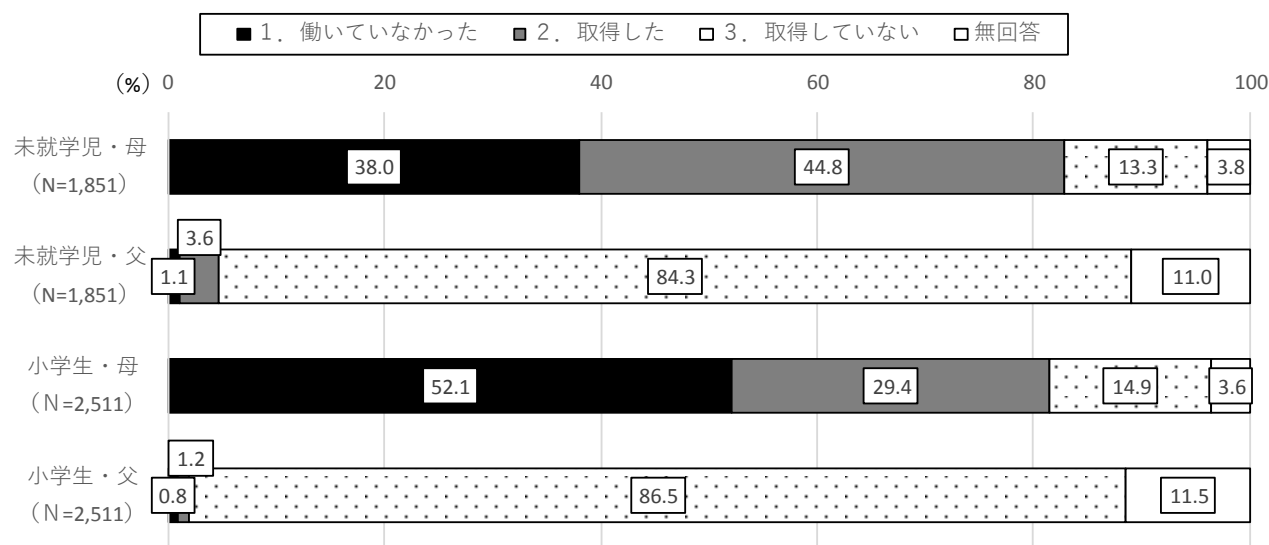
#### 育児休業の取得状況

【未就学児 問 17、小学生 問 17】

未就学児の母親の取得状況が 44.8%であるのに対し、父親の取得状況は 3.6%となっています。

小学生保護者については、現行の子ども・子育て支援事業計画以前の状況を回答いただいたこととなりますが、未就学児保護者を比較すると、母親・父親ともに取得状況に改善が見られます。

育児休業取得状況 (SA)	未就学児				小学生			
	母親		父親		母親		父親	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
1. 働いていなかった	704	38.0	20	1.1	1,309	52.1	21	0.8
2. 取得した	829	44.8	67	3.6	738	29.4	29	1.2
3. 取得していない	247	13.3	1,561	84.3	373	14.9	2,173	86.5
無回答	71	3.8	203	11.0	91	3.6	288	11.5
全体	1,851	100.0	1,851	100.0	2,511	100.0	2,511	100.0





【経済状況別 母親の育児休業の取得状況

:未就学児 問 10×問 17(クロス集計)、小学生 問 10×問 17(クロス集計)】

未就学児世帯においても小学生世帯においても、生活が「大変苦しい」世帯において、母親が育児休業を取得した割合が特に低くなっています。世帯の経済的な課題が、育児休業の取得に影響を与えていることがうかがえます。

経済状況 (SA) × 母親 の育児休業取得状況 (SA)	未就学児(N=1,851) (単位:%)				小学生(N=2,511) (単位:%)			
	1. 働いて いなかった	2. 取得 した	3. 取得 していない	無 回答	1. 働いて いなかった	2. 取得 した	3. 取得 していない	無 回答
1. ゆとりがある	34.4	47.8	12.2	5.6	38.3	38.3	19.1	4.3
2. ややゆとりがある	37.0	48.6	11.6	2.9	40.7	46.5	10.1	2.7
3. ふつう	37.1	49.6	9.8	3.5	54.4	29.4	12.5	3.7
4. やや苦しい	38.8	40.1	16.5	4.6	53.6	25.7	16.9	3.8
5. 大変苦しい	43.7	29.3	24.1	2.9	52.9	19.7	25.0	2.5
全体	38.0	44.8	13.3	3.8	52.1	29.4	14.9	3.6

## 育児休業を取得しなかった理由

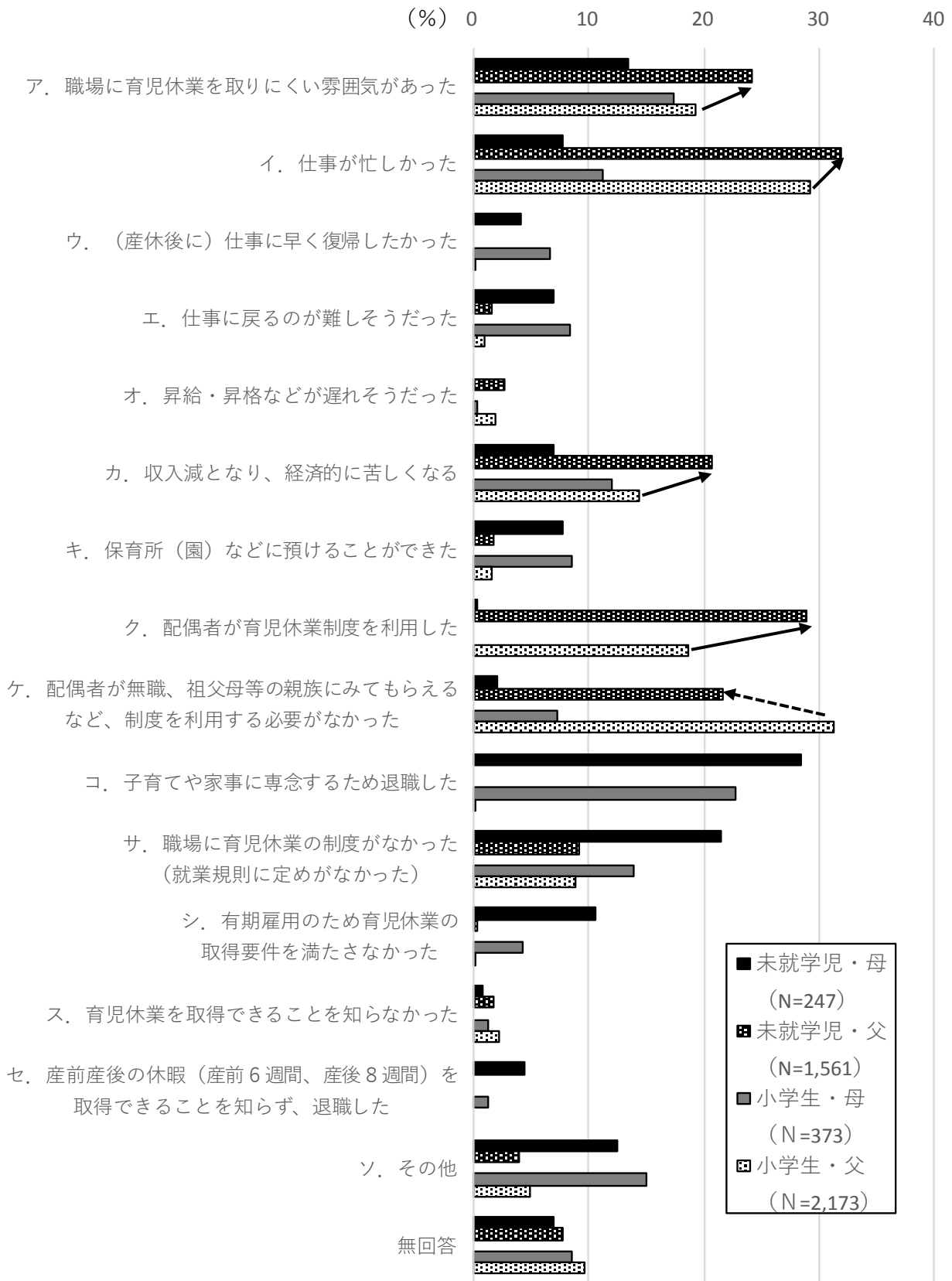
【未就学児 問 17、小学生 問 17】

【育児休業を取得していない方に限定した設問】

小学生保護者については、現行の子ども・子育て支援事業計画以前の状況を回答いただいたこととなりますが、両調査で全体的な傾向は大きく変わりません。

しかし、未就学児父親と小学生父親を比較してみると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」などにおいて、小学生父親よりも未就学児父親の割合が高く、過去よりも就労環境が厳しくなっていることがうかがえます。また、「配偶者が育児制度を利用した」が未就学父親のほうが高く、一方で「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が未就学父親のほうが低くなっており、女性の就業が進み育児休業制度の活用が増えていることがうかがえます。

取得していない理由 (MA)	未就学児				小学生			
	母親		父親		母親		父親	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
ア. 職場に育児休業を取りにくい 雰囲気があった	33	13.4	378	24.2	65	17.4	418	19.2
イ. 仕事が忙しかった	19	7.7	497	31.8	42	11.3	636	29.3
ウ. (産休後に)仕事に早く復帰 したかった	10	4.0	0	0.0	25	6.7	3	0.1
エ. 仕事に戻るのが難しそうだった	17	6.9	26	1.7	31	8.3	20	0.9
オ. 昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0	43	2.8	1	0.3	42	1.9
カ. 収入減となり、経済的に苦しくなる	17	6.9	324	20.8	45	12.1	313	14.4
キ. 保育所(園)などに預けるこ とができた	19	7.7	27	1.7	32	8.6	33	1.5
ク. 配偶者が育児休業制度を利用 した	1	0.4	450	28.8	0	0.0	405	18.6
ケ. 配偶者が無職、祖父母等の 親族にみてもらえるなど、制 度を利用する必要がなかった	5	2.0	337	21.6	27	7.2	678	31.2
コ. 子育てや家事に専念するた め退職した	70	28.3	0	0.0	85	22.8	2	0.1
サ. 職場に育児休業の制度が なかった(就業規則に定めが なかった)	53	21.5	142	9.1	52	13.9	194	8.9
シ. 有期雇用のため育児休業の 取得要件を満たさなかった	26	10.5	4	0.3	16	4.3	2	0.1
ス. 育児休業を取得できることを 知らなかった	2	0.8	28	1.8	5	1.3	49	2.3
セ. 産前産後の休暇(産前6週 間、産後8週間)を取得できる ことを知らず、退職した	11	4.5	0	0.0	5	1.3	0	0.0
ソ. その他	31	12.6	62	4.0	56	15.0	106	4.9
無回答	17	6.9	121	7.8	32	8.6	208	9.6
全体	247		1,561		373		2,173	



## 4 お子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の利用状況について

### 教育・保育事業の利用状況・利用希望

【未就学児 問 19、問 24、問 25】

幼児教育・保育無償化及び公立幼稚園の再編成を踏まえたうえでの利用希望を回答していただきましたが、利用状況に対して乖離が大きいのは、公立・私立認可保育所(園)(延長保育利用)、公立幼稚園(預かり保育利用)、私立幼稚園(預かり保育利用)、私立認定こども園となっています。公私問わず、認可保育所(園)も幼稚園も標準的な利用よりも、時間外の預かりも含めた利用へのニーズが高くなっています。

無償化の影響については、預かり保育等の長時間の施設等利用がプラスの割合となっており、幼児教育・保育無償化は多様な施設利用よりも長時間利用を促進する効果があると予想されます。

利用状況、利用希望、幼児教育無償化が実現されなかった場合の希望(MA)	利用状況		利用希望		幼児教育・保育無償化が実現しなかった場合の利用希望		無償化の影響
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)	割合(%)
公立・私立認可保育所(園)	483	26.1	551	29.8	536	29.0	0.8
公立・私立認可保育所(園)(延長保育利用)	125	6.8	323	17.5	285	15.4	2.1
認可外保育施設	76	4.1	19	1.0	25	1.4	-0.3
公立幼稚園	100	5.4	57	3.1	76	4.1	-1.0
公立幼稚園(預かり保育利用)	11	0.6	135	7.3	117	6.3	1.0
私立幼稚園	242	13.1	123	6.6	135	7.3	-0.6
私立幼稚園(預かり保育利用)	97	5.2	198	10.7	166	9.0	1.7
私立認定こども園	128	6.9	230	12.4	206	11.1	1.3
小規模保育施設	36	1.9	6	0.3	8	0.4	-0.1
ファミリーサポートセンター	3	0.2	16	0.9	25	1.4	-0.5
家庭的保育			2	0.1	3	0.2	-0.1
事業所内保育施設・企業主導型保育施設	34	1.8	10	0.5	14	0.8	-0.2
居宅訪問型保育	0	0.0	2	0.1	4	0.2	-0.1
その他			12	0.6	70	3.8	-0.8
利用していない	484	26.1					
無回答	32	1.7	167	9.0	181	9.8	
全体	1,851		1,851		1,851		

【経済状況別 教育・保育事業の利用状況：未就学児 問 10×問 19(クロス集計)】

生活が「大変苦しい」世帯において、公立・私立認可保育所(園)を利用している割合が高く、一方で、「私立幼稚園」を利用している割合が低くなっています。

経済状況 (SA) × 教育・保育事業の利用状況 (MA)	合計 (人)	割合(%)						
		(園) 公立・私立認可 保育所	(園) 公立・私立認可 保育所 (延長保育利用)	認可外 保育施設	公立 幼稚園	(預かり 保育利用) 公立 幼稚園	私立 幼稚園	(預かり 保育利用) 私立 幼稚園
全体	1,851	26.1	6.8	4.1	5.4	0.6	13.1	5.2
1. ゆとりがある	90	24.4	7.8	7.8	5.6	0.0	11.1	6.7
2. ややゆとりがある	138	23.2	10.1	5.1	6.5	0.0	17.4	7.2
3. ふつう	919	25.6	5.7	4.0	4.5	0.9	12.1	5.5
4. やや苦しい	526	25.7	7.6	3.6	5.9	0.4	15.2	4.9
5. 大変苦しい	174	32.8	6.9	3.4	8.0	0.6	9.2	2.3

経済状況 (SA) × 教育・保育事業の利用状況 (MA)	合計 (人)	割合(%)						
		私立 認定こども 園	小規模 保育施設	セン ター	ファミ リーサ ポート	事業 主導型 保育施設	事業 所内保 育施設 ・企	居宅 訪問型 保育
全体	1,851	6.9	1.9	0.2	1.8	0.0	26.1	1.7
1. ゆとりがある	90	4.4	1.1	0.0	1.1	0.0	26.7	3.3
2. ややゆとりがある	138	7.2	0.0	0.0	1.4	0.0	21.0	0.7
3. ふつう	919	6.9	2.1	0.2	1.8	0.0	29.2	1.6
4. やや苦しい	526	7.0	1.9	0.2	1.5	0.0	24.3	1.7
5. 大変苦しい	174	8.0	3.4	0.0	3.4	0.0	20.1	1.7

【経済状況別 教育・保育事業を利用していない理由：未就学児 問 10×問 23(クロス集計)】

生活が苦しいと感じる世帯ほど、施設の空き、経済的な理由と回答した方の割合が高くなっています。経済状況が厳しいほど、利用希望する施設が限定されることが要因として考えられます。

経済状況 (SA) × 教育・保育事業を利用していない理由 (MA)	合計 (人)	割合(%)									
		1. 施設・事業を利用せず保護者がみている	2. 子どもの祖父母や親戚がみている	3. 近所の人や父母の友人・知人がみている	4. 利用したいが、幼稚園や保育所(園)などに空きがない	5. 利用したいが、経済的な理由で利用できない	6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	7. 利用したいが、施設・事業の質や場所など、納得できる施設・事業がない	8. 子どもがまだ小さいため	9. その他	無回答
全体	484	61.8	15.7	0.4	21.5	9.3	1.0	2.5	33.5	9.3	1.2
1. ゆとりがある	24	66.7	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	4.2	4.2
2. ややゆとりがある	29	72.4	20.7	0.0	10.3	3.4	0.0	0.0	41.4	6.9	0.0
3. ふつう	268	61.6	16.0	0.7	18.3	5.2	0.7	1.9	34.3	10.4	1.1
4. やや苦しい	128	60.9	14.8	0.0	33.6	14.1	1.6	3.1	31.3	7.8	1.6
5. 大変苦しい	35	54.3	20.0	0.0	25.7	34.3	2.9	8.6	17.1	11.4	0.0

## 5 お子さんの放課後の過ごし方について

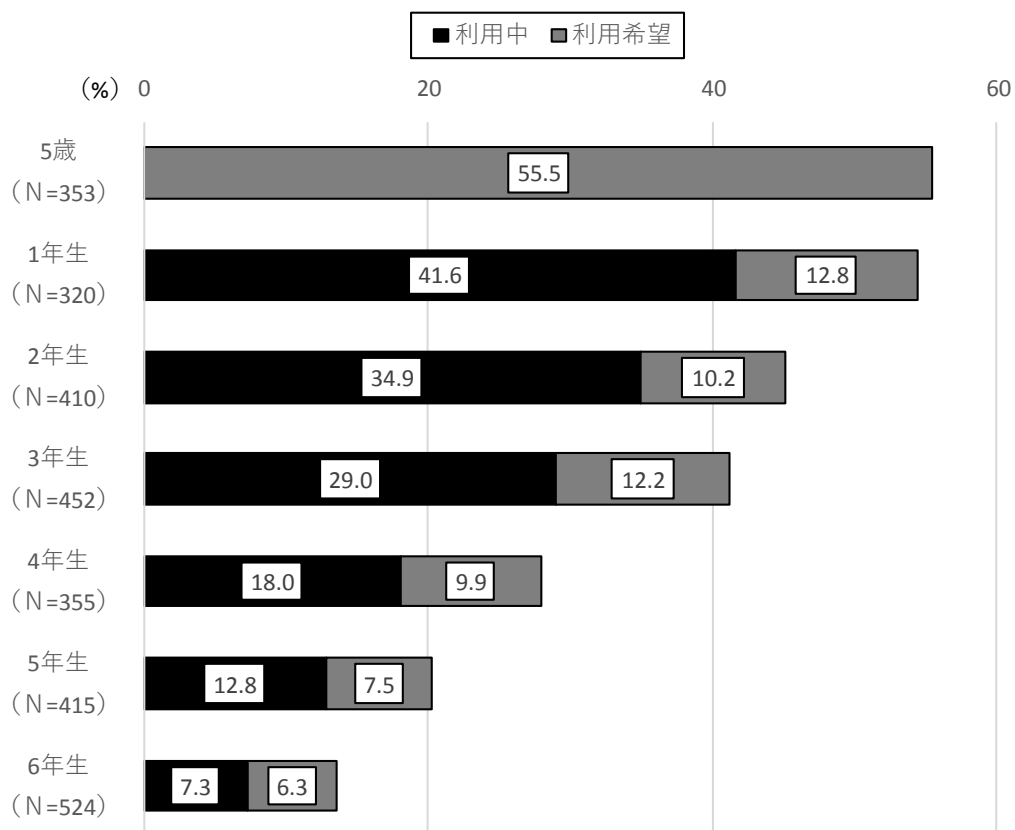
### 放課後児童クラブの利用状況・利用希望

【未就学児 問 44 小学生 問 19、問 20】

【放課後の過ごし方について聞いた設問の中から、放課後児童クラブの利用状況のみ抽出】

5歳児の保護者の 55.5%が放課後児童クラブの利用を希望していますが、1年生の利用実績は 41.6%となっています。学年があがるにつれ、利用者・利用希望者とも割合は減少しており、6年生になると、利用者・利用希望者の合計は 13.5%となっています。

放課後児童クラブの 利用状況、利用希望	人数(人)	① 利用者の割合 (%)	② 利用希望者の 割合(%)	①+②
5歳	353		55.5	55.5
1年生	320	41.6	12.8	54.4
2年生	410	34.9	10.2	45.1
3年生	452	29.0	12.2	41.2
4年生	355	18.0	9.9	27.9
5年生	415	12.8	7.5	20.2
6年生	524	7.3	6.3	13.5



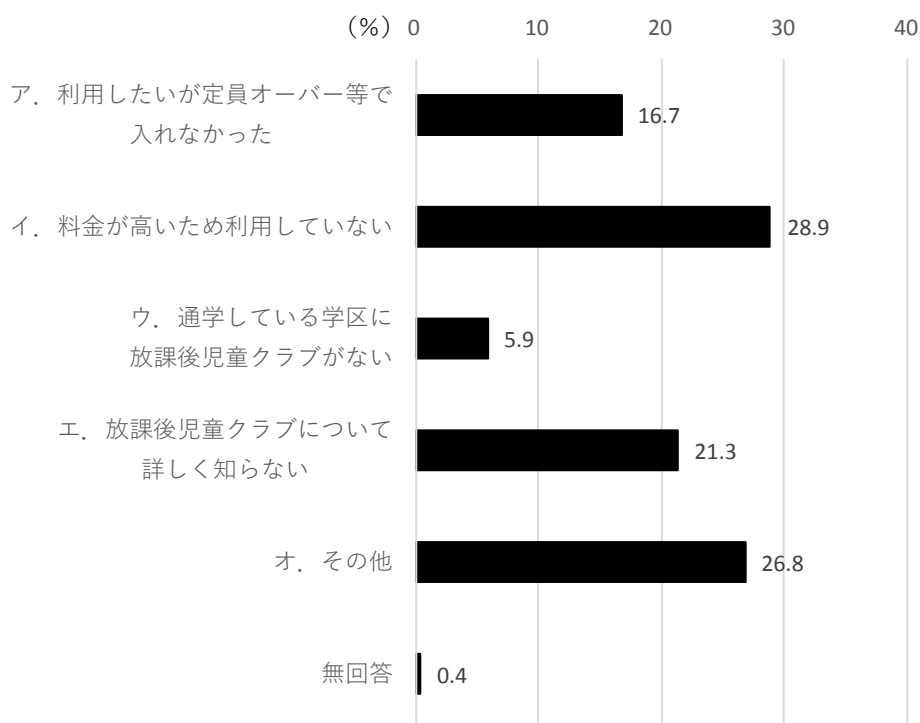
## 放課後児童クラブを利用していない理由

【小学生問 20】

【放課後児童クラブを利用していないが、利用したいと回答した方のみ設問】

「料金が高いため利用していない」の割合が最も高く、次いで「その他」の割合が高くなっています。「その他」の中では、定員がいっぱいで低学年の子どもが利用できないため遠慮した、という趣旨の意見が複数みられました。

放課後児童クラブを利用していない理由（SA）	人数(人)	割合(%)
ア. 利用したいが定員オーバー等で入れなかった	40	16.7
イ. 料金が高いため利用していない	69	28.9
ウ. 通学している学区に放課後児童クラブがない	14	5.9
エ. 放課後児童クラブについて詳しく知らない	51	21.3
オ. その他	64	26.8
無回答	1	0.4
全体	239	100.0





【経済状況別 放課後の居場所:小学生 問 10×問 20(クロス集計)】

生活が「大変苦しい」と回答した方において、「料金が高いため利用していない」と回答した割合が、突出して高くなっています。

経済状況 (SA) × 放課後児童クラブ を利用していない 理由 (SA)	合計 (人)	割合(%)					
		ア. 利用したいが定員オーバー等で入れなかった	イ. 料金が高いため利用していない	ウ. 通学している学区に放課後児童クラブがない	エ. 放課後児童クラブについて詳しく知らない	オ. その他	無回答
全体	239	16.3	28.0	6.7	22.2	26.8	0.0
1. ゆとりがある	7	28.6	14.3	0.0	28.6	28.6	0.0
2. ややゆとりがある	15	20.0	20.0	0.0	33.3	26.7	0.0
3. ふつう	113	15.0	23.0	8.0	24.8	29.2	0.0
4. やや苦しい	75	20.0	25.3	8.0	22.7	24.0	0.0
5. 大変苦しい	28	7.1	60.7	3.6	3.6	25.0	0.0

【経済状況別 放課後の居場所：小学生 問 10×問 19(クロス集計)】

低学年において、生活が苦しいと感じている世帯ほど、「習い事」を回答した方の割合が低く、「放課後児童クラブ」と回答した方の割合が高くなっています。高学年においても、「習い事」では同様の傾向がみられますが、「放課後児童クラブ」は経済状況の影響はあまりみられません。

低学年の経済状況 (SA) × 放課後の居場所 (MA)	合計 (人)	割合(%)									
		1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅	3. 習い事(ピアノ教室、学習塾など)	4. スポーツ少年団	5. 放課後児童クラブ(児童クラブ)	6. 放課後子ども教室(水原小学校のみ実施)	7. 児童センター	8. ファミリーサポートセンター	9. その他(学習センター、公園など)	無回答
全体	1,182	68.2	17.9	41.9	8.0	34.4	0.3	2.5	0.4	4.6	1.1
1. ゆとりがある	47	74.5	8.5	61.7	10.6	25.5	0.0	6.4	2.1	4.3	0.0
2. ややゆとりがある	131	58.8	26.0	55.0	9.9	38.9	0.8	0.8	0.0	6.9	0.8
3. ふつう	621	71.0	16.1	42.5	6.9	32.9	0.2	2.3	0.3	4.8	1.4
4. やや苦しい	281	67.6	21.0	37.4	7.8	33.5	0.4	2.8	0.4	2.5	0.7
5. 大変苦しい	100	61.0	14.0	24.0	11.0	46.0	0.0	3.0	1.0	6.0	1.0

高学年の経済状況 (SA) × 放課後の居場所 (MA)	合計 (人)	割合(%)									
		1. 自宅	2. 祖父母宅や友人・知人宅	3. 習い事(ピアノ教室、学習塾など)	4. スポーツ少年団	5. 放課後児童クラブ(児童クラブ)	6. 放課後子ども教室(水原小学校のみ実施)	7. 児童センター	8. ファミリーサポートセンター	9. その他(学習センター、公園など)	無回答
全体	1,294	80.5	15.5	45.1	18.0	12.0	0.1	0.5	0.4	7.5	2.4
1. ゆとりがある	47	72.3	19.1	46.8	21.3	10.6	0.0	0.0	2.1	4.3	4.3
2. ややゆとりがある	123	77.2	21.1	53.7	20.3	15.4	0.0	0.0	0.8	5.7	0.8
3. ふつう	655	81.5	14.0	48.1	15.9	10.5	0.0	0.3	0.5	7.5	2.9
4. やや苦しい	324	81.5	17.0	41.7	19.1	14.2	0.3	0.9	0.0	9.0	1.2
5. 大変苦しい	143	79.0	12.6	30.8	21.0	10.5	0.0	0.7	0.0	7.0	3.5

## 6 地域の子育て支援について

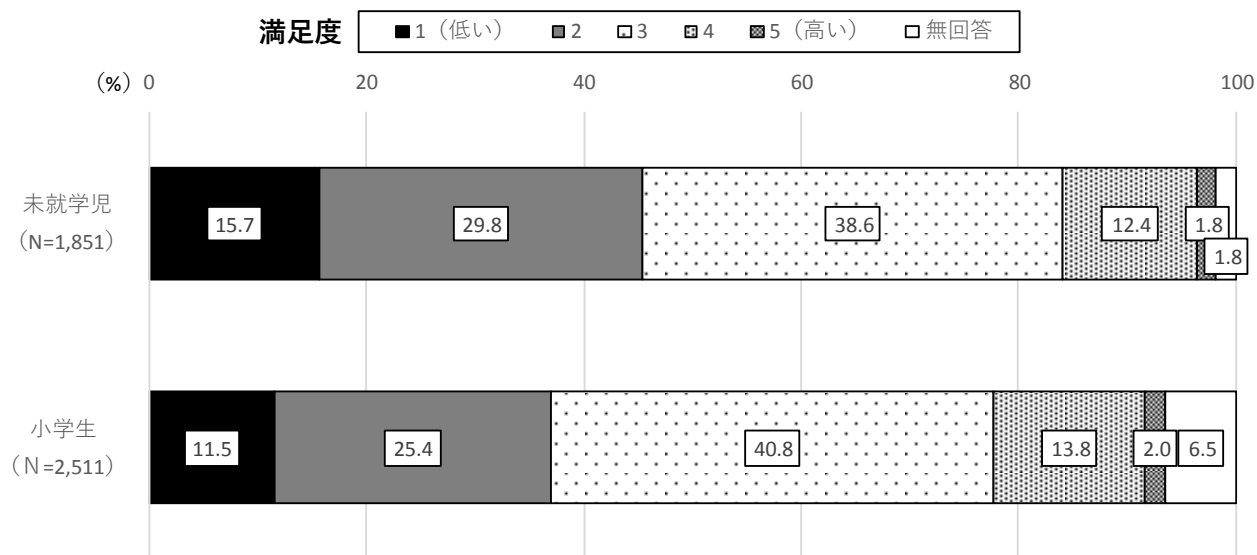
### 福島市の子育て環境の満足度

【未就学児 問 49 小学生 問 25】

満足度として、低評価(「1」、「2」の合計)をつけた方は、未就学児保護者は 45.5%、小学生保護者は 36.9%で、いずれも高評価(「4」、「5」の合計)をつけた方よりも多くなっており、全体的な評価は高いものとは言えません。

一方で、未就学保護者と小学生保護者を比較すると、低評価・高評価とも小学生保護者のほうが好意的な回答をしている結果となっています。

福島市における子育ての環境や支援への満足度 (SA)		未就学児		小学生	
		人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
低	1	290	15.7	290	11.5
	2	552	29.8	638	25.4
↓	3	714	38.6	1025	40.8
	4	229	12.4	347	13.8
高	5	33	1.8	49	2.0
無回答		33	1.8	162	6.5
全体		1,851	100.0	2,511	100.0



## 「もっと子育てしやすいまち」のために取り組むべきこと

【未就学児 問 51 小学生 問 27】

未就学児童保護者においては、特に重要と思う施策として「待機児童を解消する」を回答した割合が特に高く、次に重要と思う施策として「経済的な負担を減らす」、「経済的な支援を行う」と回答した割合が高くなっています。小学生保護者においては、特に重要と思う施策は未就学児保護者ほど特定の施策に集中はしていませんが、「経済的な負担を減らす」、「経済的な支援を行う」と回答した割合が高く、次に重要と思う施策として「経済的な負担を減らす」の他に「良好な学習環境を確保する」が高くなっています。

特に重要と思う施策（SA）	未就学児		小学生	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
待機児童を解消する	684	37.0	308	12.3
多様な保育を行う	126	6.8	124	4.9
特色ある保育を行う	34	1.8	37	1.5
健やかな成長を支援する	44	2.4	176	7.0
良好な学習環境を確保する	98	5.3	359	14.3
特色ある教育を行う	14	0.8	102	4.1
子どもたちの健康を守る	68	3.7	133	5.3
経済的な負担を減らす	477	25.8	447	17.8
経済的な支援を行う	134	7.2	410	16.3
遊び場等を整備する	62	3.3	99	3.9
情報提供と相談を強化する	13	0.7	20	0.8
男性の育児参加を進める	11	0.6	12	0.5
その他	24	1.3	44	1.8
無回答	62	3.3	240	9.6
合計	1,851	100.0	2,511	100.0

次に重要と思う施策 （MA:2つまで）	未就学児		小学生	
	人数(人)	割合(%)	人数(人)	割合(%)
待機児童を解消する	304	16.4	276	11.0
多様な保育を行う	250	13.5	228	9.1
特色ある保育を行う	175	9.5	158	6.3
健やかな成長を支援する	154	8.3	351	14.0
良好な学習環境を確保する	268	14.5	560	22.3
特色ある教育を行う	78	4.2	261	10.4
子どもたちの健康を守る	274	14.8	470	18.7
経済的な負担を減らす	606	32.7	637	25.4
経済的な支援を行う	464	25.1	543	21.6
遊び場等を整備する	308	16.6	340	13.5
情報提供と相談を強化する	40	2.2	65	2.6
男性の育児参加を進める	78	4.2	80	3.2
その他	24	1.3	49	2.0
無回答	135	7.3	240	9.6
合計	1,851		2,511	

【未就学児の両親の就労形態別 特に重要と思う施策：未就学児 世帯類型×問 51(クロス集計)】

未就学児童保護者において、全体で最も回答した割合の高かった「待機児童を解消する」を特に回答していたのは、「フルタイム×フルタイム」世帯の保護者となっています。また、全体で回答した割合の高い「経済的な負担を減らす」を特に回答していたのは、「フルタイム×パートタイム」世帯の保護者となっています。

「ひとり親家庭」は、両親のいる世帯よりも「多様な保育を行う」、「経済的な支援を行う」と回答した割合が高くなっています。

未就学児の両親の就労形態 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		待機児童を解消する	多様な保育を行う	特色ある保育を行う	健やかな成長を支援する	良好な学習環境を確保する	特色ある教育を行う	子どもたちの健康を守る
全体	1,851	37.0	6.8	1.8	2.4	5.3	0.8	3.7
ひとり親家庭	157	35.7	11.5	3.8	3.8	3.8	1.3	0.6
フルタイム×フルタイム	712	42.4	7.3	1.8	1.7	4.9	0.7	4.5
フルタイム×パートタイム	362	37.3	4.7	1.7	2.2	3.3	1.1	2.2
専業主婦(夫)	604	30.6	6.3	1.5	3.0	7.3	0.5	4.3
無職×無職	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

未就学児の両親の就労形態 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		経済的な負担を減らす	経済的な支援を行う	遊び場等を整備する	情報提供と相談を強化する	男性の育児参加を進める	その他	無回答
全体	1,851	25.8	7.2	3.3	0.7	0.6	1.3	3.3
ひとり親家庭	157	19.7	12.1	2.5	1.3	0.6	0.6	2.5
フルタイム×フルタイム	712	24.9	4.5	2.4	0.0	0.4	1.1	3.4
フルタイム×パートタイム	362	30.7	7.7	3.0	0.3	0.0	1.4	4.4
専業主婦(夫)	604	26.0	8.9	4.8	1.7	1.2	1.7	2.3
無職×無職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【小学生の両親の就労形態別 特に重要と思う施策：小学生 世帯類型×問 27(クロス集計)】

小学生保護者において、全体で最も回答した割合の高かった「経済的な負担を減らす」は、両親の就労形態による違いはあまり見られません。全体で回答した割合の高かった「経済的支援を行う」を特に回答していたのは、「ひとり親家庭」、「無職×無職」世帯の保護者となっています。

「専業主婦(夫)」世帯は、他の世帯よりも「良好な学習環境を確保する」と回答した割合が高くなっています。

小学生の両親の就労形態 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		待機児童を解消する	多様な保育を行う	特色ある保育を行う	健やかな成長を支援する	良好な学習環境を確保する	特色ある教育を行う	子どもたちの健康を守る
全体	2,511	12.3	4.9	1.5	7.0	14.3	4.1	5.3
ひとり親家庭	286	10.1	7.0	1.4	7.3	7.0	2.4	4.2
フルタイム×フルタイム	853	14.5	4.8	1.9	5.6	13.0	4.3	5.3
フルタイム×パートタイム	878	12.0	4.0	0.9	7.2	15.0	4.8	4.9
専業主婦(夫)	408	9.3	6.1	1.5	8.1	21.8	3.2	7.4
無職×無職	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0

小学生の両親の就労形態 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		経済的な負担を減らす	経済的な支援を行う	遊び場等を整備する	情報提供と相談を強化する	男性の育児参加を進める	その他	無回答
全体	2,511	17.8	16.3	3.9	0.8	0.5	1.8	9.6
ひとり親家庭	286	19.9	23.1	3.1	2.1	0.0	1.7	10.5
フルタイム×フルタイム	853	18.6	13.7	3.8	0.4	0.6	2.1	11.4
フルタイム×パートタイム	878	18.9	18.3	4.4	0.3	0.5	1.1	7.6
専業主婦(夫)	408	14.0	13.2	3.9	1.5	0.7	2.5	6.9
無職×無職	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【未就学児世帯の経済状況別 特に重要と思う施策：未就学児 問 10×問 51(クロス集計)】

経済状況別に見ると、生活が苦しいと感じている世帯ほど「経済的な負担を減らす」や「経済的な支援を行う」と回答した割合が高くなっています。また、全体では最も高い「待機児童を解消する」と回答した割合は、生活が苦しいと感じている世帯よりも、「ふつう」と感じている世帯が高くなっています。

未就学児世帯の経済状況 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		待機児童を 解消する	多様な 保育を行う	特色ある 保育を行う	健やかな 成長を支援する	良好な学 習環境を確保する	特色ある 教育を行う	子どもた ちの健康を守る
全体	1,851	37.0	6.8	1.8	2.4	5.3	0.8	3.7
1. ゆとりがある	90	38.9	7.8	2.2	4.4	4.4	3.3	2.2
2. ややゆとりがある	138	37.7	4.3	2.2	2.9	13.0	2.9	6.5
3. ふつう	919	40.4	7.1	2.1	2.2	5.5	0.3	4.5
4. やや苦しい	526	33.1	7.4	1.5	2.1	3.8	0.6	2.9
5. 大変苦しい	174	29.3	5.2	1.1	2.9	2.9	0.6	0.6

未就学児世帯の経済状況 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		経済的な 負担を減らす	経済的な 支援を行う	遊び場等 を整備する	情報提供 と相談を強化する	男性の育 児参加を進める	その他	無回答
全体	1,851	25.8	7.2	3.3	0.7	0.6	1.3	3.3
1. ゆとりがある	90	14.4	3.3	7.8	2.2	2.2	3.3	3.3
2. ややゆとりがある	138	13.8	5.1	2.2	0.7	0.7	2.2	5.8
3. ふつう	919	23.3	5.8	3.6	0.5	0.5	1.0	3.3
4. やや苦しい	526	30.4	8.2	3.2	0.8	0.6	1.7	3.8
5. 大変苦しい	174	39.1	16.1	1.1	0.6	0.0	0.0	0.6

【小学生世帯の経済状況別 特に重要と思う施策：小学生 問 10×問 27(クロス集計)】

小学生保護者においては、全体で回答した割合の高かった「経済的な負担を減らす」や「経済的な支援を行う」は、生活が苦しいと感じている世帯ほど回答した割合が高くなっています。一方で、「良好な学習環境を確保する」や「遊び場等を整備する」は、生活にゆとりを感じている世帯ほど回答した割合が高くなっています。

家計に経済的な課題があるために、本来の関心ごとである学習環境や子どもの日常的な遊びに注意を向けづらくなっていることが考えられます。

小学生世帯の経済状況 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		待機児童を解消する	多様な保育を行う	特色ある保育を行う	健やかな成長を支援する	良好な学習環境を確保する	特色ある教育を行う	子どもたちの健康を守る
全体	2,511	12.3	4.9	1.5	7.0	14.3	4.1	5.3
1. ゆとりがある	94	17.0	1.1	1.1	7.4	25.5	6.4	2.1
2. ややゆとりがある	258	12.0	5.4	3.5	7.4	21.7	5.0	7.4
3. ふつう	1282	14.1	5.1	1.2	6.9	16.1	4.7	5.9
4. やや苦しい	608	10.4	5.1	0.8	7.2	9.0	2.8	4.4
5. 大変苦しい	244	5.7	4.1	2.0	6.1	6.6	2.5	4.1

小学生世帯の経済状況 (SA) × 特に重要と思う施策 (SA)	合計 (人)	割合(%)						
		経済的な負担を減らす	経済的な支援を行う	遊び場等を整備する	情報提供と相談を強化する	男性の育児参加を進める	その他	無回答
全体	2,511	17.8	16.3	3.9	0.8	0.5	1.8	9.6
1. ゆとりがある	94	8.5	5.3	11.7	0.0	0.0	4.3	9.6
2. ややゆとりがある	258	10.1	8.1	6.2	0.4	0.4	1.9	10.5
3. ふつう	1282	17.2	12.8	3.8	1.0	0.5	1.9	8.6
4. やや苦しい	608	21.1	24.2	2.5	0.7	0.7	1.3	9.9
5. 大変苦しい	244	25.4	27.9	2.5	0.8	0.0	1.2	11.1